

科目区分	専門分野	授業科目	基礎看護学実習 I
講師名	実習担当者	開講年次	1年次 第1・2学期
単位数(時間)	1単位(45時間)		
授業概要 *講師からのメッセージ			
<p>目的：対象と対象の療養環境を理解し、対象のニーズに応じた日常生活援助を学ぶ</p> <p>目標：</p> <p>基礎看護学実習 1-①</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象の生活と療養環境を理解できる 2. 看護場面の見学を通し、対象と看護師の関係について理解できる 3. 対象を尊重した態度で関わる姿勢が理解できる <p>基礎看護学実習 1-②</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象の日常生活を理解できる 2. 対象のニーズに応じた日常生活援助ができる 3. 看護者として必要な態度を養うことができる 			
回	授 業 内 容		
	<p>基礎看護学実習 1-①(15時間)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象の生活と療養環境の理解 <ol style="list-style-type: none"> 1) 対象の療養環境を理解 2) 入院による生活の変化の理解 2. 看護場面の見学を通し、対象と看護師の関係についての理解 <ol style="list-style-type: none"> 1) 対象とのコミュニケーション 2) 看護場面(環境調整・日常生活援助)の実際 3. 対象を尊重した態度で関わる姿勢の理解 <ol style="list-style-type: none"> 1) 対象を尊重する姿勢の理解 2) 情報の管理 <p>基礎看護学実習 1-②(30時間)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象の日常生活の理解 <ol style="list-style-type: none"> 1) 対象の療養生活状況と思い 2) 療養生活による環境の変化が対象に及ぼす影響 2. 対象のニーズに応じた日常生活援助 <ol style="list-style-type: none"> 1) 対象の日常生活援助の必要性の理解 2) 対象の日常生活援助の計画立案 3) 対象の援助を提供するために必要な環境調整 4) 安全性・安楽性・自立性の原則に基づいた実施 5) 実施した日常生活援助の評価 3. 看護者として必要な態度 		

	<ul style="list-style-type: none"> 1) 相手を尊重する態度 2) 主体的な学習 3) チームワーク 4) 医療安全に対する配慮 5) 自己の看護観を明確化
授業方法	臨地実習
評価方法	<p>以下の内容を実習評価表(100点)に沿って評価を行う</p> <p>対象理解・看護実践・実習態度・出席状況・実習記録</p>
備考	<p>関連科目で用いたテキストを活用する。実習要項で提示された事前学習をする。</p> <p>関連科目: 人体形態機能学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、看護学概論、生活援助技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ</p>